



『アートロード』のあるまち 新千里西町

千里中央商業エリアの西、新御堂筋線を越えると新千里西町です。千里ニュータウン唯一のオフィス街と住宅地の間には、「千里アートロード」と名づけられた彫刻の道があります。まちの西側には千里丘陵の面影を残す島熊山があり、新千里西町は住宅地・オフィス街・アート・緑がほどよく融和したまちです。

モデルコース

- 1 千里橋
- 2 歩行者トンネル
- 3 ばらの木児童公園
- 4 西丘小学校南角
- 5 西町公園北側入口
- 6 しんじゅ橋
- 7 からたち公園
- 8 新千里西町近隣センター
- 9 なつめ橋

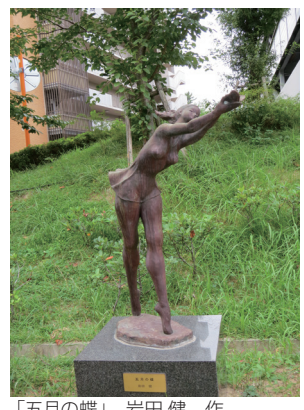
合計 約 2km



凡例 トイレ ビューポイント 駅改札口 **A~E** おすすめポイント **P.15,16参照** モデルコース 近道コース アートロード

● まちの中のアートを楽しむ

新千里西町のメインストリートは「千里アートロード」とよばれ、多くの彫刻が通りに配置されています。また、公園やトンネルにもアートを見つけることができ、アートを探してまち歩きをするのも楽しみ方のひとつです。



● オフィス街を歩く

新千里西町のオフィス街は千里中央一帯を大阪北部の「副都心」にしようというビジョンのもとに建設されました。現在は銀行や保険会社、住宅メーカー、製薬会社などの高層ビルが都市的な景観を形づくっています。オフィス街は歩行者道路でネットワークされていて、東側の商業エリアとは歩道橋（千里橋）と歩行者専用のトンネルで結ばれています。



● 万葉集ゆかりの島熊山緑地

島熊山緑地にはかつての千里丘陵の雑木林や竹林・アカマツの林が残っており、豊島高校の南側から豊寿荘の裏手まで山道が続いています。また、豊中不動尊の境内には、「玉かつま島熊山の夕暮れにひとりか君か山路越ゆるむ」という旅に出ている夫に思いを馳せて妻が詠んだ万葉集の歌碑が建てられています。



千里おもしろ話

● 山行き ●

旧上新田では、毎年4月18日に山行きという行事が行われていました。この日は、子ども大人も晴れ着姿で丘の上に登り、ドジョウ寿司などのごちそうを食べて楽しく過ごしました。旧上新田の一部だった現在の新千里西町あたりの丘でも山行きが行われたそうです。子どもたちにとっては、新しい服を着ることができ嬉しい行事でした。



写真-6 昭和10年(1935年)頃の山行き